

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう！》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2013/10/31 集計 + オンライン署名増加分 = **8,364,720** 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。脱原発の旗を高く掲げて粘り強く呼びかけましょう。

国会会期中に 原発セールス？

国内全方位に問題山積の日本。それを苦ともせず、また国会会期中であることを物ともせず、二泊三日の「原発セールス」トルコ旅行をした首相。原発 1 基の事業費は 4 千億〜5 千億円だと言いつつ、原発輸出はアベノミクスの成長戦略の柱だと言います。しかし、足元では、まだ福島原発事故の収束も真相不明もされていません。「自国の事故解決も出来ない日本が、よくも地震国であるトルコへ原発を売り込めるものだ」と、各所で怒りの声が上がっています。

現在病氣療養中の友人から以下のメールが届きました。「：諦めずに声を出し続けることが大事ですね。心で思っただけでは何も伝わらず、結果として反対していかない人や無関心の人と同じです。私も外出はできないまでも、鎮痛剤を使いながらも、自分の出来る方法で意思を表さなければと思っています。小さな動きを集めて大きなうねりに！と切に願います。」

11.9 集会「私たちの脱原発 3 原則、作らない・売らない・動かさない」

日時：11 月 9 日 (土) 13:30~16:30 (開場 13:00) / 会場：星陵会館 (地下鉄永田町駅 6 番出口、溜池山王駅 5 番出口) / 主催：脱原発をめざす女たちの会 (Tel: 080-3174-3584) 申し込み：主催者電話またはホームページ [http://www.nnpfem.com/] / 参加費：1,000 円

11.16 九条の会

「第 5 回 全国交流・討論集会」

日時：11 月 16 日 (土) 10:30~16:30

会場：日本教育会館 (東京都千代田区一ツ橋 2-6-2)
主催：九条の会 第 5 回 全国交流・討論集会 運営委員会 (Tel: 03-3221-5075) (Fax: 03-3221-5076)

《集会内容》 【9:45 受付開始】【10:30 開会】

【10:35 呼びかけ人あいさつ：大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝】【11:35 各地の「九条の会」からの報告】【12:00 昼食・休憩】【13:00 シンポジウム「集団的自衛権行使容認と憲法」(仮題)：柳澤協二・元内閣官房副長官補 (安全保障担当)、国際地政学研究所理事長、浦田一郎・明治大学教授 (憲法学)、九条科学者の会、司会＝渡辺治・「九条の会」事務局】【14:30 移動・休憩】【14:40 分科会】

【16:30 終了】(敬称略) 《参加申込》 参加資格：分野別、又は県・地域の「九条の会」に属している方 (学生は別) / 住所・氏名・年齢・性別・所属の「会」を明記して下さい。申込用紙は「九条の会」サイトから、又は電話で事務局に請求して下さい。/ 申込締め切り：11 月 9 日 (土) / 参加費：1,000 円 (学生は別)

11.20 福島原発事故の真実を知り、 原発の無い社会への道筋を考える 学習会

日時：11 月 20 日 (水) 18:30~20:50 / 会場：町田市民文学館・ことばらんど (Tel: 042-739-3420) 2 階大会議室

報告：奈良本英佑氏 (法政大学名誉教授) 「原子力市民委員会の討議と中間報告」 / プレゼンテーション：後藤政志氏 (原子炉格納器の設計に携わる) 「福島原発で何が起こったのか、その現状と将来の見通し」 / 質疑応答・討論：《進行》井野博満氏 (東京大学名誉教授) / 参加費：500 円 / 共催：原発事故を考える町田市民の会 (Tel: 042-729-2296) ・原子力市民委員会 (http://www.ccneiapan.com/)

私達の声を、政府へ直接届けよう！

「特定秘密保護法案」が通れば、原発問題の真相は隠蔽されます。他方で、戦争への扉が開きます。政府への抗議・要望等を、『内閣府・国民の声』まで、電話や手紙で伝えよう！

- 〒100-8914・千代田区永田町 1-6-1
内閣府・「国民の声」
- 電話番号：03-5253-2111 (大代表)

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月 1・11・21 日にこのニュースをお届けします。Fax にて集会情報のご投稿をお願いします。